



瓊浦高等学校
学校通信
第 73 号

平成30年9月28日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦窓の

「紙一重」

校長 宮崎 芳之

今年の夏は異常な暑さで、岐阜や名古屋では40度を超えるという観測史上最高の気温ということでしたが、ちょうどその頃インターハイに出場したバドミントン男子、卓球男子、空手男子の応援で、私もその岐阜、名古屋に行っておりました。

私にとっては、興奮と感動でことのほか熱く燃え、気温の方はあまり感じなかったような気がします。

どの試合でも、全国の強豪を相手に窮地に立たされる場面が幾度となくあったのですが、最後まで決して諦めることなく、果敢に向かっていく姿には感動させられました。そして、瓊浦の生徒は「本当にすごい」と心からそう思いました。

個人で出場した、陸上男・女、ボクシングは残念ながら見ることはできませんでしたが、それぞれの健闘ぶりは顧問の先生から報告を受けています。特に、陸上1500Mの林田君は、全国3位という長崎県陸上では最高の成績をあげ、これが認められて、U20オリンピック育成競技者に選ばれました。是非オリンピックを目指してほしいと思います。

また、全国総文祭に出場した美術、写真、将棋、吟詠剣詩舞においてもそれぞれが貴重な経験をし、大きな力を得てきたようです。

瓊浦で一生懸命努力をすれば、全国の大舞台で十分活躍できるのだということを多くの生徒諸君が今年も証明してくれました。(運動部の高校総体総合成績は県下一)

ところで、高校総体やコンクールも含め様々な試合において、「紙一重」のところで勝敗を決するという場面にいくつも遭遇しました。「紙一重」で勝ったときの爽快感は何とも言えませんが、負けたときの悔しさは心に大きなダメージを与えます。力の差は一枚の薄い紙ほどのわずかな違いで、ほとんど差がないという意味ではあるのですが、その薄い紙には必ず表と裏があり、それが勝ちと負けを分けるのです。

「紙一重」の文字は「紙が一番重い」とも読めます。その薄い紙を打ち破るには、並大抵の努力では叶わないということで、心に重くのしかかってくるようです。

全国を狙う部活の生徒諸君は本当に大変だとは思いますが、この「紙一重」を克服するための研究・検証が必要だと思います。また、これから県内で上位を目指す部活動の諸君にも同じことが言

えるかと思います。

強いチームは、勝つために人の何倍も練習を積んでいきます。そこまでは誰もがやることであり、練習をすることで精神力の強さも確かに養われます。しかし、紙一重の土壇場で発揮しなければならないのは、窮地に立たされた時の自分自身の判断力であると思います。それを鍛えるのが日頃の学習なのです。練習の量だけではどうしてもその紙は破れません。日頃の学習がものを言うのです。どうか毎日の授業を大事にしてほしいと思います。そこで集中力を養い、精神力を強くするのです。

これは部活動をやっている者だけではなく、すべての人に言えることだと思います。「成功と失敗は紙一重」とよく言います。就職試験にせよ、大学受験にせよこれからの人生において「紙一重の境地」に立たされることが必ずあります。そのときに発揮するのが、日頃の学習によって鍛えられた集中力であり判断力なのです。「寝る子は育つ」とよく言いますが、授業中に寝る子は育つわけがありません。

どうか、練習に励み、そして学習に励むことでそれぞれの大きな夢の実現に向けて、挑戦してほしいものです。

2学期はいろいろな大きな行事が控えています。3年生は就職戦線まっただ中。言うまでもなく、これからが正念場です。進学する者は、あせらず、じっくりと力を付けて欲しいと思います。1・2年生にとっては、各教科のほとんどがこの2学期に山場を迎えます。ここでくじけたら回復させるのにそうとうなエネルギーを費やすことになります。苦しいからと言って、安易な方向へと流れることがないようにお願いしたいと思います。

終わりに、体育祭の応援誠にありがとうございました。松山での開催はあいにくの雨で実現できませんでしたが、保護者の皆様のおかげで感動的な体育祭が開催できました。心から感謝申し上げます。11月の瓊浦祭もご支援よろしく願いいたします。

体育祭

本気×団結＝ ～瓊浦流方程式～

総合優勝

赤 ブロック

(情3A 普3C 普2B 機2B
普1A 機1B)

K-1グランプリ

【スピード部門優勝】

木下 飛翔君(龍普3A)

【パワー部門優勝】

黒磯 瑠王君(普2B)

9月8日(土)の朝、生徒達は長崎市営陸上競技場に集合しました。プログラムを短縮し何とか午前中だけでも松山での開催をと、体育科の先生方をはじめ努力が続けられましたが、7時過ぎに降り出した雨は無情にも止むことなく、翌週火曜日に学校での開催となりました。11日はすっきりとした晴天。団体種目のみでしたが、生徒たちは3年生を中心に一致団結し、組体操やダンス、ブロック別演技等練習してきた成果を披露しました。特に3年生男子によるエッサッサはプログラムの最後を飾るのにふさわしく、大変気迫のこもった姿を見せてくれました。



【海外研修報告】

今夏、本校から3名の生徒が韓国、シンガポール、マレーシアでの語学研修に参加しました。そこでの様子等を村川航海君と小原一愛さん（ともに龍普3A）、鈴木拓海君（龍機2A）に話してもらいました。

Q1：シンガポールやマレーシ

ア、韓国に行く前の印象と行ったあとの感想を教えてください。

小原：韓国の音楽やドラマに興味がある私にとって、韓国は憧れの国でした。韓国に行く前の印象は音楽やドラマに興味があった私でも、日本と較べて怖い人が多く嫌なイメージでした。しかし実際に韓国で生活していると日本語を話せる人がとても多く、困っていたら親切にしてくれる人ばかりでした。

村川：シンガポールは私が思っていた以上に経済力がありました。昨年、クラスメートが同じ形でシンガポールに研修に行き、話を聞いていましたが、話を聞くのと行って見るのとでは全然違いました。

鈴木：シンガポール・マレーシアに行く前は、特にマレーシアは治安が悪く気候も暑くて過ごしにくいのかなと思っていましたが、ホストファミリーの配慮もあって、安全に過ごすことができました。彼らの温かさを強く感じ、別れのときは、涙を流してしまいました。

Q2：留学先での1番の思い出は？

鈴木：学校訪問で、現地の人々とも仲良くなれたことと、授業の体験、そして仲間との絆も深められたことが一番の思い出です。

村川：報道されている情報のみで物事を判断する事は大変危険で、実際に足を運び、体験することの大切さを学んだことです。お世話になったホストファミリーがイスラム教徒だったので、ホームステイ中はイスラム教徒としての生活を一緒に行いました。ホストファミリーから、「ニュースで見るイスラム教徒の姿を本当の姿と思わないでほしい」と言われ、私は偏見を持っていたので、この言葉を聴いて、非常に申し訳ない気持ちになりました。

小原：海雲台という場所に景色を見に行ったことです。留学先の釜山は、どちらかといえば長崎のような山が多い土地でしたが、海雲台は見渡す限り高層ビルが立ち並ぶ都会のような場所でした。（写真でもわかるとおり）とても綺麗で大きな海を見て感動したことが印象に残っています。

Q3：逆に今回の研修中に苦労したことは？

小原：私自身の語学力の無さから、留学中に交流したパートナーの方との意思疎通が難しかったことです。独学で韓国語を勉強していたので、相手が言っていることはだいたい聞き取れたんです。でも、私が伝えたいことをうまく伝えられず、話が弾まなかったことが心残りです。

鈴木：食事です。美味しい料理も沢山あり、味については問題なかったのですが、量がきつかったです。一食一食の量も多く、1日5食も食べることがあるので、すごく苦労しました。

村川：自らの英語力の低さのため、コミュニケーションがうまく取れなかったことです。本当に悔しさしか残っていません。しかし、現地の方々が私の拙い英語に真剣に向き合ってくださったので、安心して生活することはできました。

Q4:今回の研修を通して、これから何を頑張っていこうと思いましたか？

小原：交流中にパートナーとの意思疎通が難しかったので、大学に進学し、言語はもちろんその国の文化や歴史についてもっと深く学びたいと考えるようになりました。大学進学後は韓国語や韓国の文化や歴史についての学びを深め、将来、国をまたいで働く仕事に就きたいと思っています。

村川：英語力のさらなる向上をめざし、多くの国を訪れ、これからの長崎の在り方を考えてみたいです。大学での



目標は、長崎を発展させるために自らができることの模索と実践的な英語力を身につけることです。

鈴木：今回の研修で広げた視野を使って、物事を色んな方面から見て柔軟に思考で行動していきたいと思います。

その他にも、外国人特有のコミュニケーション能力からも沢山のことを学んだので、人との接し方も良い意味でオープンに接していきたいと思いました。

【部活動成績】

● 水泳部

平成30年度 長崎県高等学校新人体育大会

男子200m背泳ぎ 宮野 恵人 (機1C) 第3位
男子1500m自由形 八尋 重人 (機1B) 第3位
女子100m平泳ぎ 中村 絢香 (情2A) 第2位
女子200m平泳ぎ 中村 絢香 第2位
女子400m自由形 原口 くる実 (情2A) 第2位
女子400m個人メドレー 原口 くる実 第3位
女子200m背泳ぎ 小川優美 (普2B) 第3位

● 陸上競技部

平成30年度 長崎県高等学校新人体育大会

男子5000m 林田 洋翔 (情2A) 優勝
女子800m 石本 真歩 (普2B) 第2位
女子1500m 石本 真歩 第2位
女子7種競技 西村 真由子 (龍普2A) 第3位

● 卓球部

平成30年度 長崎地区高等学校新人卓球大会

男子ダブルス 中原 湧斗 (機2B)・浅野 俊 (普2D) 優勝

牧山 航太 (普2B)・田淵 勇伍 (龍機2A) 第2位
西嶋 茂哲 (龍普1A)・谷藤 仁奎 (龍普1A) 第3位
山根 敏和 (龍普1A)・貞方 雄輝 (普2D) 第3位

男子シングルス

牧山 航太 優勝
中原 湧斗 第2位
西嶋 茂哲 第3位
山根 敏和 第3位

女子ダブルス

中村 羽衣 (普2B)・田中 彩香 (普1B) 第2位

平成30年度 長崎県卓球選手権大会高校の部

男子ダブルス

中原 湧斗・浅野 俊 優勝
牧山 航太・田淵 勇伍 第2位
西嶋 茂哲・谷藤 仁奎 第3位

男子シングルス

中原 湧斗 優勝
牧山 航太 第3位
山根 敏和 第3位

女子ダブルス

中村 羽衣・田中 彩香 第3位

＊福岡大学合格おめでとう＊

9月21日（金）午前10時。長野 航大君（龍普3A）が福岡大学商学部貿易学科の合格を勝ち取った。5.6倍のAO入試を乗り越え、見事合格を勝ち取った長野君に話を聞いた。



Q1：合格おめでとうございます。現在の率直な気持ちを教えてください。

第一志望校に合格できて本当に嬉しいです。でもここがゴールではないので、センター試験に向けての学習や受験を控えているクラスメートや仲間のサポートを頑張っていきたいです。

Q2：入試や入試対策で苦労したことは？

受験を決めてから、限られた時間のなかでの書類作成・小論文対策、面接練習等、怒涛の日々でした。書類を書くにしても小論文の対策をするにしても、始めは本当に言葉が出てこなかったのも、何をするにしても先生方に迷惑をかけてしまいました。でも、自分と本当に向き合い練習を重ねることで、自分に自信がつき、試験日当日は自信を持って迎えることができました。

Q3：後輩たちへのメッセージを！

授業、部活動、資格取得、校内外での諸活動等、高校生活すべてが皆さんの武器になります。毎日全力で楽しんでほしいと思います。

ありがとうございました。70回生全員が合格・内定できるよう、サポートやアドバイス頑張ってくださいね！1月下旬にはセンター試験もありますね！

なお、70回生19名が現在合格・内定をいただいております（9月21日（金）現在）。